愛國婦人會機關

愛國婦人

每月十日廿五日發行

（定價）一枚參錢五厘一ケ月分七錢
三ケ月貳拾壹錢中半年分四拾貳錢壹
ケ年分八拾四錢全國無遞送料郵券
代用（壹錢又は五厘切手）一割增
廣告料五號活字一行四拾錢

發行所　東京市麴町區下二番町三十七番地　大日本女學會內　愛國婦人發行所
發行兼印刷人　山澤俊夫
編輯人　手島益雄

電話番町壹千三百三十番

社説

金錢の貴重なる一例

「川に居ッて水をしみ、山に居ッて薪をしむ程の心がけでなくては、金はたまらぬものである。』と故福澤諭吉氏の民間經濟錄といふ書にかいてあッたやうに記憶して居るが、此語は人々の服膺すべき訓誡であると思ふ。總じて大抵の人が貯金するとのできないのは、金錢をしまず金錢を尊ばないからである。十錢や二十錢の金は、有ッても無くても差當り痛痒を感じないと云ふ樣なヿて、兎角無駄遣に陷るからである、十錢でも二十錢でも、乃至は一錢でも一厘でも、之を積めば如何なる用向をも便じ困難をも救ふ所の大切な金であるから、決して浪費してはならぬのである。我が國の農民中に、年々地租の怠納處分を受ける者が三萬以上五万位もある。其怠納の金額は何程であるかといふに、一戶平均、多い年が五十錢許で少ない年は僅に二十六錢である。斯樣な少許りの金の工面ができないて、法律に觸れる者が三万人も五万人もあるのである。之を以て考へても、金の大切なヿが分るのである。是等の農民は、地租を納める者であるから地主である、縱ひ僅の地面にせよ地面持である、此外に所有地の少しもない、小作百姓といふのが、日本には二百万戶もある。此小作百姓の中には、尙一層憐れな境界な者が澤山あるであらう。

記者の友人の話に、西洋から戾ッた人て、日本人は貯蓄の念が薄い、大に之を奬勵せねばならぬ、と頻りに憤慨して居る者があるが、實際日本人は、貯蓄心に乏しいと云ふよりも、貯蓄すべき物に乏しいのである。故に貯蓄を奬勵するに先達ッて、是等の者に貯蓄すべき物を得させる所の、經濟上の工夫が必要である。と云うた者があるが、是も一理ある話で、右樣な少許の金で、法律に觸れる樣に人々に向ッて、幾許貯蓄せよと勸めて見ても、出來ない相談であらう。

我が愛國婦人會々員方は、斯樣な貴い金錢を、慈善事業に投ぜられる身分の方々であるから、心がけ次第で、貯蓄ができるであらう、否、申すまでもなく、既に貯蓄を勵み居られるであらうが、尙一層貯蓄心を養つて、「公共の恩人」となられんとを希ふ。時勢に感ずる所があッて、陳腐ながら此一篇を草した。

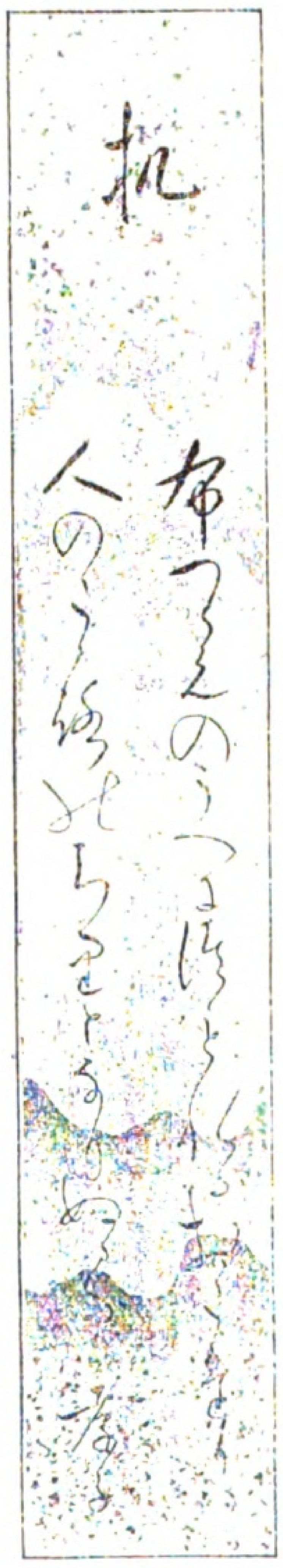
最も大切なる學問は何ぞ（承前）

嘉悦女子寄宿舍主　嘉悦政子

此頃婦女子の學問著しく盛になりまして、實に破竹の勢ひとでも申す有樣で、一方より觀察すれば實に結構なる次第、實に喜ばしき現象でありますが、又他の方面よりして熟視熟考すれば、大いに警戒を加へねばならぬ事があるかと思ひます。當今の學問は虞・舜・重盛の事蹟を知る事にのみ汲々として、其孝道を實踐すると云ふ事には孜々たらざるのではありますまいか。道眞・岳飛の行爲を暗記する事にのみ熱中して、其憾みず、尤めざるの忠節をまねると云ふ事には、專心ならぬのではありますまいか。修德即ち人に最も大切なる學問である所の、此精神的修行なるものは、殆ど絕無であるかの樣に身受けます。何方の敎育の方法を見ましても、唯々學藝一方に偏して精神的敎育には無頓着であるかと思はれます。其證據には、今日の女學生の多くの擧動に注目すれば明白いたします、見るに忍びず云ふに堪へざるほどの事をも、實際なしつゝあるものも少なからぬのであります。中にこれらの行なき人があれば、直に以て完全無缺なる淑女であると、自らも許し人も許すてはありませんか、座作進退の不穩なる、言葉の亂暴なる、人に對して不遜なる、朋友に不信なる、親に赤心を盡さゞる如きは云ふまでもなく、時としては一身の都合上他を陷擠し他を欺くが如きも、平氣で何とも思はざるてはありませんか、而して此位の事は人間有がちの事として、自分も亦人も許すの有樣であるやうで御座います。實に歎かはしき次第で、果して此勢で進み行きますとすれば、其結果は實に懸念に絕えません。他日一家の主婦となり母となりて、家を宰し、子女を導くことが出來ましやうか、國家の基礎たるべき善良の國民を作る事が出來ましやうか、實にむつかしい事かと思ひますれば心細さの限りであります。又た顧ッて父兄の希望は如何であるかと觀察いたしまするに、是亦精神的敎育、即ち婦女子の婦女子たるべき道を誤らず行くやうに、所謂人道を十分に養成する樣にとて、學問をなさせる事に熱心なる方は或は少なくして、何をさておき、第一に學藝を修得して、智惠才能の少しにても人に勝る樣になれかしと祈られる方が、或は多くはありはせぬかと思はれます。若しも此觀察にして誤らぬといたしますれば、其子女の德行の修らざるは自然の結果當り前の事でありましやう。之を譬ふれば、現今の學問は丁度造花と同じ事で、一見したるところでは、かの造花は誠に美麗で、殆ど天然の花にも勝れて居りますが、熟視すれば、悲いかな馥郁たる香があまりせん、精神がありません、生命がありません、それ故日を經るに從ひ、いつしか塵は積り色はあせ、二た目とは見られぬ有樣に立ち至ります。之に反し十分なる肥料を與へて、其根本に十分なる力あらしめたる草木の花は、時節が參りますれば、美麗なる花馥郁たる香を發し、他日あッぱれ立派なる實を結ふ事は疑ひもありません。女子の學問も亦た是と少しも違ひ御座いません。第一に肥料たる所の德行の實力を十分に養成し貫き、其次に幹・枝・葉たる處の智育躰育の發達を促しますれば、他日必ず完全なる美麗の花を開き、後ちに至りて初めて有益なる果實を結ぶものでありましやう。現今の女子たる者父兄たるもの、よく〳〵是等の點を熟慮深察せられ、時の流行に誘はれ、他日臍をかむの悔あらざる樣、智育と德育と並行する樣、否寧ろ德育には偏するとも、決して智育に偏せざるやう大に注意すべき事であらうと思ひます。

女子の賢・不肖は母の賢・不肖にありとは、誰も許す所であります。而して母の賢・不肖は智惠才能のみにあらず、學問の深淺のみにもあらず、主として母の修德の深淺善良なる精神の厚薄にあります。孟母ありて孟子あり、松下禪尼ありて北條時賴あり。正行の母ありて正行あるのであります。而して孟母は學識才能の人に過れし人なりしか、松下禪尼は博學多才の人てありしか、正行の母は多藝多能の人なりしか、決して〳〵さうではないのであります。此等の人々は世に過れたる博學多能の人ではないのであります、博學多能の人にあらずして、孟子・時賴・正行の如き世に卓越したる人物を造りたるは、是れ單に德行の世に優れたるばかりてあります。精神的修養の人に勝りて深かッたのである事は疑ふ可からさる事であります。果して然らば、有爲の國民を養成し國を富强にするの基は、其國の婦女子が修德の厚薄にある事は、又疑ふべからさる事であります。それ斯の如く、婦女子に德育の必要なる、精神的修養の大切なるに拘らず、獨り人の目につき易き粧飾的の學藝にのみ、學ぶものも、學ばざるものも、亦敎ふる人も、ひたすら心を用ひて、他を顧ざるとは、淺見も亦甚だしいと思ひます。嗚呼我子弟を愛する人、我身を愛する人、子弟を敎導する人、須らく深く此點に心を用ひ、方針を更めて、銳意修德の點に意を用ひねばならぬ事と思ひます。大學にも身を修むるを以て本とす、其本亂れて末治まる者はあらず、とあります。

（完）



評議員　侯爵世嗣夫人か辻孝子筆

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

演説

三輪田女學校開校式祝辭(承前)

伯爵　大隈重信

總て事物の變遷といふもの、移り變ると云ふことは大層興味のあることとて、併ながら此移り變ると云ふ時代ほど危險なものはない。丁度此節の如き氣候の變り目、先日のやうな恐るべき大風を起す、洪水を起す、海嘯を起す、皆氣候の變化から生ずるのである。私の如き不具な身體も、其氣候の變化によッて此三四日足が痛んだ。恐るべきものである。殊にこの强壯な者ほど變化にそれ程感じが强くないのである、外部の刺激に打勝つことが出來るのである。所が此の青年、殊に皆さんの如き幼年若くは青年の時期は、餘程この身躰の變化も劇しければ、精神の變化も非常に劇しい、此の移り變るときが一番恐るべきもので、一歩を誤れば終身を誤る。最早思慮が定まッて十分一人前の女子になると、如何なる外部の刺激に遭ッても、容易に動かされるものではないが、今移り變る變遷の時である。況や大變遷である日本といふ此國家、日本人民といふ此民族も亦大變化に出遭ッて居るのである。國家開闢以來三千年の文明は、外部の刺激、即ち歐米の文明の刺激に出遭ッて、俄に東洋の文明と西洋の文明と、今將に調和せんとする此大變遷の時機である。それ故に普通ちやんと秩序の立ッた、而して敎育も一定の方針を以て、總て社會が平穩に、漸次に進むと云ふ如き時ては、ないのである。さう云ふ時に當ッては、多少變化があッても同一の事を繰返す、多少進歩すると云ッても次第々々に進歩するので、それ程目に見えない變化である。所が、日本に於ては實に驚くべき變化である。殆ど開闢以來未曾有の變化である。斯の如き變化は、凡そ世界の歴史に、決して日本の歴史を措いて外に無いと云ふが如き大變化である。其變化と同時に、今將に皆樣が、是から段々學問をして、精神を修養なすッて、それから夫を持ッて一の家庭を組立つる、而して一國の風俗の本たる一家を組立ッて、之を社會に及ぼさうと云ふ、斯の如き思想といふものは、從來女子の敎育には決して無いことである。是亦驚くべき變化である。所が如何なる變化があらうとも亦、先日のやうな大風が吹いて大きな海嘯があり、直に數千噸數万噸の船を覆すといふが如き浪が立ッて來やうとも、恰も海中に岩がある、其岩が一たび浪が打ッて來ると、浪に沒して無くなッて仕舞ッたやうに見えるけれども、浪が退くと直ぐ屹然として、岩は常に其の處に存在して居るのである。それ故に私は一國の精神、敎育の精神といふものは、必ず國民全體の力によるには相違ないが、其間に一人の偉大の感化力が起るは、恰も海中に屹然と立ッた岩の如く、如何なる風濤をも怒濤をも凌いで、直ちに浪の間から岩は正面に現はれる。斯う云ふ譯であるに依ッて、私は三輪田女史の此精神、夫に早くお別れになッて、隨分辛苦なすッたお方であらうと思ふ。而して苦辛經營して、而して此財産を——實は自分の愛する所の嗣子、承はる所御實子でもないと言へば、尚更に義理合としても多少の財産を殘したいと云ふことは人情である。人情から言へばどうしても此財産を纏めて、一家を安全に保ちたいと云ふのは人情である。それを捨てゝまでも社會の爲國家の爲に、貢献なさると云ふ所の精神は、恰も海中に屹立したる岩のやうなものであると思ふのである。是れは先づ此校に集まる所の皆樣に向ッては、此上もない幸福な譯であると思ふ。而して此校よりして、一般の女子の敎育の上に、感化を與へることを私は深く望むのである。又必ず與へるに相違ないと信ずるのであります。今日の開校に就いて、私の感じの一端を言ひ現はして悦びの辭に換へます。

(をはり)

○懷舊談(三)

海軍大尉　長尾耕作

○「ポート」の流失　某艦の少尉候補生は、予と全じく運送船の兵員を陸揚するので、小蒸汽一隻、「ポート」三隻を以て、同一の仕事に從事してをッた。前回話した夜、予が運送船に歸ッた頃は、既に其艦の小蒸汽も「ポート」も船尾に紡ッてをッた。

大した風になつたと語りつゝ、予は上等室に這入ッてをッたが、何しろ、非常の波が、船に打ち當て、和船の船頭などは、一生懸命だが、仕方がない、大抵和船は破損沈沒した。

夜が明けた、予は少しく起き樣が遅かッたが、昨夜の事が心配でならぬから、甲板に出て、檣立の船を見ると、小蒸汽は少々流されてはをるが、無事である。然るに同僚の候補生は、船尾に立ッて心配氣に見える、同時に其艦の小蒸汽も「ポート」も居らぬ事を發見した。

傍に行ッて問うと、大變心配して、「サア、何したか知らん」との一語を發して、遠方を見てをる。予も氣の毒でならないが仕方が無い、小蒸汽の乘員に聞くと、前回書いた通りの有樣であッたとの事だが、他の事は知らないと。

苟も天災、天候とは云ひ乍ら、自分は伴ひ行ッた兵卒共に離れて、運送船で寢てをッた間に、「ポート」が流れましたては、歸ッて艦長に對して言譯は立たない、こゝが切腹と云ふ幕だが、予は某を慰めて「ナアニ、小蒸汽は陸に逃げてをるよ」、とは、曰ッたものゝ、五六里先きの海岸に、果して小蒸汽が逃れ得たか、殊に夜中波の高い間を行き得たかと、種々心配して、望遠鏡で見ても、何にも分からない。

予は波が靜まッたゆゑ、出發の用意をしたが、某艦の小蒸汽は陸岸から歸ッて來た、先づ無事であッたかと、一安心して、然らば「ポート」はどうしたかと聞くと、「ポート」どころですか、恐ろしい中をヤット逃げたのですと。さては、困ッたものなり、仕方がないから結局小蒸汽で、「ポート」は何處だと、海岸を探すのだと、コンナ洒落を云ふどころではなし。

予は兵員を載せて一船往復した。歸つた頃には某艦の「ポート」も居つた、「お目出たう」と云うて、委細を聞くと、矢張り運送船の薩摩丸であッたか、横濱丸であッたか、當地に來航の途中、明け方に海面を見ると、白い「ポート」が流れて來よる、「ハテナ」と思ひ近寄ると、軍艦の「ポート」であった、(丁度海洋島の近傍迄流れてをッたのである)、そこで運送船では、昨夜の風に流れたものと斷定し、之を引き揚げて、二隻は自分の「ポート」釣り、即ち「ダビット」に釣り、又一隻は船尾に引いて、運送船の碇泊地に來たのであるとの事だ。

さて又、某は小蒸汽の歸へた後も尚、心配して色々考へつゝ、船尾に立ッて沖の方を怨めし氣に見てをッたが、一隻の運送船が、白い「ポート」を曳いて來るのが、眼に止まッた。直ちに我が艦の「ポート」と斷定して、一刻千秋の思ひして、運送船の接近するのを待つた、信號の出來る距離に近寄ッたから信號すると、果して推察の通りで、此時こそ、欣喜雀躍したとの事だ。過ぐれば一場の夢であるが、當時の心中を思へはなか〳〵笑話どころではないのである。

(つゞく)

松浦の風光(其六)

白砂青松

肥前會員　田村梅能子

領巾振山　玉島川の流に沿うて車を返し、濱崎に至り、更に南方に向ひ、田圃の畦道を行くこと、凡そ十町にして達すべし。登ること又六七町にて頂に達す。頂上は平坦にして湖水あり、魚鱗を產す、湖畔に望夫石、及小夜姫比禮掛松等あり。むかし小夜姫、其人狹手彦が三韓に行くを送り、別を惜みて此山に登り、袖を振て狹手彦が乘る所の船を麾きしも及はず、悲歎の餘り化して石となりたりといふ、此山一名を鏡山と云ふ。

小夜姫ひれかけ松

かはり行く世にかはりなきひれかけの松そ昔のかたみなりける

鏡山に登臨一望すれば、眼界大に開く、東に玉島川あり、西に松浦川あり、唐津の市街。舞鶴城。松浦橋。虹の松原。玉島の里等、皆眼下にあり、恰も樓上より庭園の築山を見るが如く、松浦の山水一幅の圖畫中にあり、登臨する人も、亦何ぞ畫中の人物たらざるなきを得ん。眸を放て玄海を望めば、波濤渺茫として白馬を走らし、近く高島。鳥島。大島。神集島等、碁布散列し、遠く烏帽子島の燈臺を認め、壹岐、對馬は、遙に雲烟の間に模糊たり。釜山浦那の邊にかある、將た遼東半島那の所にかある、昔は少女此山に登り石に化す、今諸嬢にして一度爰に來らば、方に羽化登仙の思ひあるべし。山の西麓に鏡村あり、祭祀する所の鏡神社は、神功皇后姿見の鏡を神躰とし、いと尊き社にぞある。舞鶴城より西方凡四里にして名子屋城趾あり、豐臣秀吉、朝鮮征伐の役に行營を築き、天下の大小名を集め朝夕軍議を凝し雞林の雲、唐土の野を睥睨せし所なり。他日諸嬢の爲め筆を執りて東道となり、山光水色を眺め一日の閑を消すべし。

心あらは拙き筆のあとゝめて、人なまつ浦の里に來て見よ

(をはり)

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

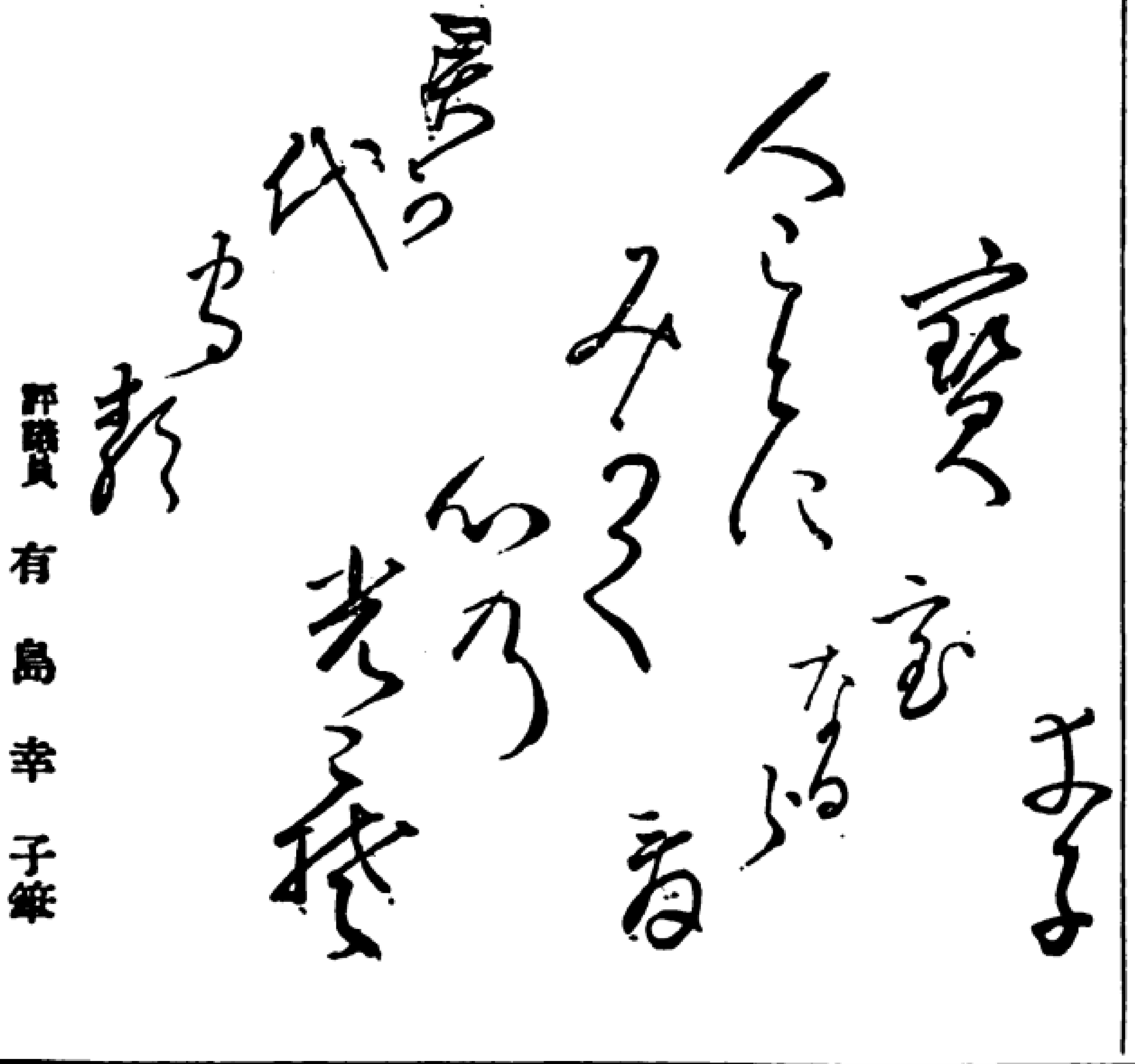
愛國婦人傳

吉田松陰の北堂（つゞき）

評議員　下田歌子

其累ひはひきて、わが夫にまで及ぶに至りては、いかに男魂ある瀧子なりとも、何としてかは、堪へ忍ばるべき。腸はちぎれ、骨は碎けて、氣も狂ひ、心も亂れ果つべきに、瀧子が涙は、烏羽玉の夜の枕より外に、また洩らさゞりき。夜中人沈まりて後にこそ、鼻打ちかむ音をも洩らせ、夜明くれば、なほ、平常のまゝなる瀧子なりけり。たゞ、打ち畏こまりて、詞少なゝる物から、心の中には、我が子、よし、罪を得て、非命の死を遂げたりとも、詮ずる所は、たゞ國の爲にこそあれ。彼れが血は、必ず、世人が刺戟藥劑となりなん。其志しをつぎ、其行ひを逐ふ、國士これによりて振るひ起りぬべきものぞとや思はれにけん、「彼れが體は死ぬれども、よも、彼れが魂は、死に候はじ」と云はれたるにても、賢兒を知るの明ありける、賢母が心を推量るに足るべし。瀧子は、斯くの如く、忍び難き歎きを忍びて、つゆ氣色にもあらはさず、家人を戒め、且つ敎へて、いとど、嚴肅なる家法のもとに、ます〳〵勤儉をぞ勸めける。げに、世態の變遷は、走馬燈にも似たるかな。昨は罪ありとして、死を賜ひし人も、今は、功ありとして、神とし崇められ、今は、賊と號けて逐はるゝ者も、昨は有司として敬はれしもあるべし。况んや、歳寒くして凋むに後れたりける、松下塾の中よりは、維新の後、早く樞機に與りぬるも少なからねば、松陰ぬしがいさをは、忽ちに、公けになりぬ。然はあれども、刈薦の、なほ束ねあへざりける餘波に、萩の下露、また亂れて、あたら蕭墻のもとなる爭ひに、親戚朋友、相せめぎて、血をもて血を洗ひけるこそうたてけれ。この年は、是、明治九年、瀧子が最愛の孫小太郎、孫の婿、玉木正誼等も、彼の、玉木正韞とともに戰死せり。其他の親戚も、此災ひにかゝりて、討たるゝ者多かり。其折しも、長子杉民治（松陰の兄）は出て、玖珂郡に在り。家に殘れるは、たゞ幼き子供と、婦女ばかりなりけれども、瀧子は、從容として、毫も惚てたるさま無く、家の內の人には、其々に、指揮命令して、事をとらすると、更に平素にかはるふし無く、悲みの情は溢れて、しかも傷らず。一家聊かの過ちもあらしめざりしかば、瀧子が芳名は、年とゝもに高くなりて、皆、其徳をしたはぬも無し。斯くて、明治十五年といふ年の冬、三條內府、瀧子の刀自が寫眞を召して、畏こくも、わが皇太后皇后の兩陛下に奉られ、ついて、皇后陛下よりも、恩賜、三たびにまで及べりとぞ傳へうけたまはる。

（未完）



評議員　有島幸子筆

童話　珍しい桃

みどりの舍

むかし〳〵、或る大層な富豪の家へ、其の國の王樣がお遊びに行幸になるといふので、其家の主人は、今日の御馳走の中に、王樣が一番お好みの品て、此上も無い上等の召上りものをさしあげたいと思ひまして、內々御殿のお料理番まで、其の事を尋ねますると、王樣は、桃が何よりお好きだと云ふ事でございます。然し其の時分は、最早時候遅れて、何處の八百屋へ行ッても、蜜柑や柿や梨の類ばかりで、桃といッては影も形もございません。そこで主人は大層氣を揉みまして、人を八方に走らせ、ありとあらゆる家を尋ねさせますと、不圖或る横町の小ひさな果物店に、其家の老人さんが、やう〳〵三個ほど秘藏して居るといふ事を聞出しました。主人は狂氣のやうに喜んで、直に其の店へ行ッて其の桃を出させて見ますに、それは〳〵色艶といひ、大きさといひ、丸て今ちぎり立かと思ふ程、美事な桃でございます。是なら王樣に獻上げても恥かしくないのみならず、今時分斯んな桃を御覧になッたら、定めし珍らしく思召すとてあらうと思ッて、老人さんに其の價値を問きますと。老「ハイコレハ一個百圓でございます。主「ナンダ、百圓だ、たッた一個で……滅法界高い桃だなア。老「ハイ寒中の筍と同じで、今時分何處をお探しなすッても、斯んな桃どころじやアない。桃のもの字もあるとちやございません。主「オイ老人さん、そんなに大法螺を吹きなさんな。桃は矢張桃だ、有る時なら、なんぼ高くても、二錢か三錢が關の山だ。錠と相場が極ッて居るのに、縁日の植木ぢやあるまいし。本當な處を云ッてもらひたいものだ。と申しますと、老人さんは何を思ひましたか、急に傍にあッた庖丁で、其の桃を一つ手に取ッて、いきなり皮を剝いて二つに割り、半分は自分の口に入れながら、半分は主人に差出しまして、老「お買ひなさるとも、なさらぬとも、其處はお前樣の御勝手だが、コリヤア無代で進ぜます、甘か無味か、マア召上ッた上での御相談にいたしませう。主人は目の前へ突き出されて、今更手をひく譯にもゆきませんから、是非なく其の半分を食べて試ますと、成程老人さんが秘藏の桃、だけあッて、それはそれは實に何ともいはれぬ美い味ひがいたします。老人さんは莞爾笑ひながら、老「如何がですな、御風味は。と尋ねられて、主人は頻りに舌皷を打ちながら、主「甘い〳〵、實に甘い桃だ。美い味だ。斯んな桃は生れてから始めてだ。老人さん高くても仕方がない、買ッて行かうよ、後の二個の代二百圓、サア此處に置くよ、と懐中から百圓紙幣二枚取出して、後の二つを持ッて行かうとしますと、老人さんは狼狽しげに其の手を抑へまして、老「マアお待ちなさい、さうは參りません、今二百圓だけ下さいまし。二百圓だけ。主「二百圓此處に出してあるじやないか。老「イエ今二百圓でございます。ハイ都合四百圓頂きたいので。主「何だ、一個百圓なら、二個て二百圓だ、……戲言いッちやいけない。老「旦那、そりやさうは參りませぬ。マアお聞なさいまし、おッしやる通り。幾何味が美いと申しても、高が桃です。成程澤山ある時なら二錢か三錢かの價値しかございますまいが。世界中探しても、たッた三個より外無いと云ふので、一個百圓といふ馬鹿氣た價値がするのです。先刻までは三個あッたのが、今は二個になりましたから、品は愈々少くなりました。少くなりましたから愈々珍物となりました。其處で價値が愈々高くなッたのは當前でございます。若し此中の一個を今の樣に召上ッて、殘りが一個になッたなら、此度は千圓の價値になります。と言はれて、流石の富豪も膽を潰し、暫く呆然て居りましたが、ぐず〳〵して居て又剝かれたら大變だと思ひまして、仕方無しに、殘金二百圓を出し、たッた二個の桃を都合四百圓で買ッて歸りました。それから、王樣へ御馳走に獻上げましたるに、殊の外王樣の御意に叶ひまして、大層およろこびになりました。其の日、王樣が宮殿へ御還幸になりますと間もなく、王樣よりの御使が、富豪の家へ參られまして、使「先刻は珍物の馳走になり滿足に思召す。朕を歡ばす爲に、斯樣にまで心配ひをするからには、一朝朕が困る樣な事のある時には、何んなにも心配ひをして、朕が心の安まる樣にして呉れるであらう。洵に頼母しい事である。此の品品は返禮として其方に下さる。と、お使は口上を述べて、大層なお寶物を、主人の前へ並べたてましたとさ。めでたし〳〵。

酒句の別莊にてよめる

評議員　中山幸子

あはれさよあらしの朝うちよする
　いそへのそたをひろふ人々

あなあはれかくまてあらき大浪も
　神ならぬ身のしるよしもなき

小山田のしつかふせやの軒はもる
　月の光りにきぬたうつなり

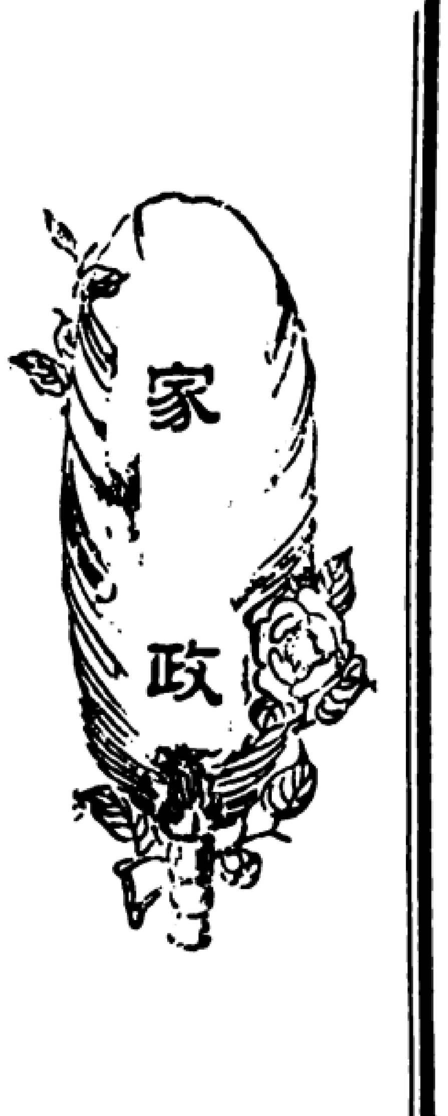
をりにふれて　福岡會員　村島つね子

こゝろのみひたすらさきを急かれて
　すゝみかねたる式島のみち

三輪田女學校の開校をきゝて　東京會員　松下たか子

ゆくすゑはいかなる實をやむすぶらん
　露にうるほふ園の若草

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



◎家計費目の割合

統計局審査官 呉 文聰

本篇は、統計學の大家呉文聰氏が、本誌に於て、家計收支の實況を募集せるを見て、是に同情を表せられ、かねて歐米の學者が、幾多の研究を經て成れる所の、家計の標準即ち生活の程度に應じて、それ〴〵衣食住等の費目の割合を定めたる比例表に、說明をさへ加へて、ふりはへ寄稿せられたるなり。家庭主宰者に取りて、極めて有用なれば、此に收錄す。其題目は氏が附せられたるに非す編者が假りに名づけたるなり。

家族生計の豫算と云ふは、之に依て國民の生活法を見、其貧富を知り、又儉約を爲す道をも敎へんとする者なり。次に示すは、此類の調査を始めて開きし、獨逸のドクトル、エンゲル氏が、獨逸列國中の撒遜の家族に就いて調査せし所なるが、其後幾多の研究を經て、一の敎訓となりしものなり、即ち一軒の家族の收入を百と積り、其中幾何を何に用ゐるかを示せしものなり。

費用	百分比例 普通職工	中等家族	上等家族
食料	六二・〇	五五・〇	五〇・〇
衣服	一六・〇	一八・〇	一八・〇
住居	一二・〇	一二・〇	一二・〇
點燈、燃料	五・〇	五・〇	五・〇
（小計）	九五・〇	九〇・〇	八五・〇
敎育、信向其他	二・〇	三・五	五・五
租稅	一・〇	二・〇	三・〇
衞生	一・〇	二・〇	三・〇
慰神身養	一・〇	二・五	三・五
（小計）	五・〇	一〇・〇	一五・〇
	一〇〇・〇	一〇〇・〇	一〇〇・〇

此豫算の科目か皆一樣で無ければ、何處に餘計な入用を遣ひ、何處に不足があるなとの事も分らねば、成るべく費用は一樣ならさるべからず。扨て右の表を見るに、普通の職工の收入ならば、食物のみの入用百分の六拾まで掛り、之に薪炭（外國ては薪は入らねと）と衣服家賃とを加ふれは、百分の九拾五まで入りて、殘るは僅かに百分の五のみ、即ち拾圓で五拾錢貳拾圓で壹圓參拾圓で壹圓五拾錢のみなれは、何をせんにも致方なし、此殘金にて敎育・信神・租稅・衞生・交際の費用を支へねばならぬ譯なれば其心に任せぬは當然なり。エンゲル氏の規則と云ふは『家族の活計か不如意なれは不如意なるほど食料に費す割合多しと云ふに在り』

合衆國の勞働統計局にて二千五百六十二家族に付調査せし結果は次の如し。

	食料	家賃	衣服	燈火、燃料	其他
二百弗以下	四九・六	一五・五	一二・八	八・一	一四・〇
二百弗三百弗	四四・三	一四・七	一四・三	七・六	一九・二
三百弗四百弗	四五・六	一五・〇	一四・一	七・〇	一八・三
四百弗五百弗	四五・一	一五・三	一四・四	六・六	一八・六
五百弗六百弗	四三・八	一五・二	一五・三	六・六	一九・一
六百弗七百弗	四一・二	一五・五	一五・九	五・九	二一・六
七百弗八百弗	三八・九	一五・六	一六・三	五・三	二三・九
八百弗九百弗	三八・一	一六・一	一五・一	五・三	二五・五
九百弗千弗	三四・三	一四・九	一六・八	四・七	二九・一
千弗千百弗	三四・七	一五・一	一七・五	四・五	二八・一
千百弗千二百弗	三〇・七	一二・二	一六・五	三・九	三六・七
千二百弗以上	二八・六	一二・六	一五・七	三・〇	四〇・一
計	四一・一	一五・一	一五・三	五・九	二二・七

二百弗以下にて暮らす家族は、其百毎の五十（即ち半分）を食料に費し、それより收入の增すに從ひ、千二百弗となりては百毎の二十八弗六十仙にて濟し得るの成績を得たり。さて食料費は收入の增すに從ひ右の如く減少すれとも、家賃は其割合に差等なく唯最高等二級の支出割合に少きのみ。然るに衣服の料は割合に多く增加す、光や熱（即ち薪炭油に當る）費は不如意の人割合に費多し、（割合にと云ふは費す金高が同しなのではなく收入の、割合になり）下の段の其他と云ふは、敎育・信神・租稅・衞生・交際・慰み、貯金などに充つへき金なれど、之が下等百分の十四より上等百分の四十まて上るなり、敎育・衞生・貯金も始めて出來る餘裕を生ずる譯なりと知るべし。

◎家事要項

家事衞生 第二 看護（つゞき）

湯藥 藥は効能あるだけ危險ものなれば注意て授くべし。藥の品數多きときはゆめ取違ふる樣のことあるべからず、凡てかゝる過は取急ぎ事を迫く爲に生ずるものなり必ず嚴かに扱ふべし。さて藥を與ふときは殊更物靜かに慰つゝ授くべし。されど藥を拒むものには謹嚴に的當と應接も物の方便なり。重き病のものは藥を飮まざらんとて齒を喰締るものあり、また飮むがごとく裝ほひて傍の人あなたを向ける時そと吐き出すもあり、かゝらんときは藥を口に入れたる折一言話を交ふべし、口にものありては語ること叶はぬものなるが故なり。

水藥 は飮ます前に振りて用ふべし、調合せしものなれば底に沈み又は偏濃こともあるべき故なり。

散藥 は包紙を賤と二重に折りて折目の端より飮まば振落す過なしといへど若し此過を担がんとしなば飮ます前匙又は皿に明けて之に水又は茶（ものによりては茶は用ふべからず）を注ぎて授くべし過は決してなし。起き直ること叶はぬ病人には通例かくするをよしとす。されどかくして與へたる折には匙の底、皿の縁に少しも付きて殘るべからず、散藥の中に色々の藥ありてそが中の最と効能よく而も量の少なきもの或はこの殘の中に入りてあるも計られ難きなり。味の忍び難きは醫師よりヲブラートとて薄煎餅の如きを授くる故そを少し濕して其中心に置き四方より合せ裹み少さくして與ふ、或は薄き海苔につゝみてもよし。

丸藥 は舌の上に置きて後より水を少しく飮まし共に嚥下すを最宜とす。

瀉藥 には揮發性とて速く立ち去る性質のもの屢あるゆゑ、瀉し數へなば直ちに飮まし罎の口を速に強く塞すべし、揮發性の強きものは火の附く恐れもあれば明又は燃るものゝ傍に近づくるなかれ。

油藥 は飮みにくきものなり、そを口に入るゝ前に燒酎（ぶらんぢい）酒にて嗽き微煖めたる匙に藥を移し早く飮ましめ、後に復前の通嗽しむれば先々飮みにくからず。

下藥 は通常早朝腹空きたるとき與ふるものなり。そが効能を助けんには晚の食事を控へさせ輕き羹（そっぷ）位を與へ置くべし。微溫かき飮料を與へ靜かに柔かく腹を摩るは同じ效となるものなり。醫去りて後汗多く出て寒戰あり、嘔吐あり、自ら下痢し疹を發し出血ありたらば、下藥を授くる前に猶一度醫に問ふべし、かくてもなほ藥を飮ますべきかと。下藥を飮みて後腹痛せば腹に煖め布を載せ、身に濕りたる又冷たき風氣の當らぬ樣にし煖かなる湯を飮ますべし。

◎家計收支の實況（其四）

群馬縣北甘樂郡富岡町 會員 某

明治三十五年九月分收支

一、家族三人但し夫妻及下婢

收入

一金五拾七圓七拾五錢 俸給

内

金參圓 役所にて共同貯蓄として引去（但每月）

差引

金五拾四圓七拾五錢 受取高

支出

一金四拾八圓八拾八錢

内譯

金五圓	家賃
金五圓	米代
金貳圓拾四錢	薪七束炭二俵
金壹圓拾貳錢	時事新報外二種
金壹圓七拾參錢	野菜
金壹圓四拾參錢	魚鳥
金壹圓九拾七錢五厘	鷄卵六十五個
金壹圓四錢	牛肉鑵詰
金參拾六錢五厘	石油
金七拾貳錢	醬油味噌鹽及酢
金四拾八錢	砂糖
金壹圓貳拾貳錢	菓子
金四拾錢	茶
金拾八錢	提灯壹張
金參拾錢	主人理髮料
金參拾五錢	髮結代
金壹圓五拾錢	中學校運動會へ寄附
金貳圓五拾錢	町内祭典費
金壹圓五拾錢	卷煙草
金壹圓貳拾錢	郵便切手及はがき
金六拾五錢	靴修繕料
金拾參圓	故山の老母へ送金
金貳圓	下婢給金
金參圓八錢	生命保險懸金貳人分

差引金五圓八拾七錢 殘高

右の如く可相成筈なれとも所得税及所得税割（縣税）を主人の手許より支出納付したる故に付結局本月分は殘高を生せさる譯合なり

是れ迄東京其他の地方にて生活候も當地の如く物價（家賃のみは東京より廉なり）高直にて生活に困難を感したる地は無之從て前掲の如く收入は全く日常の生活に其殆んと全部を費消する有樣にて畢竟は經理の不行屆可有之と御恥しく存候

評 此支出費目の百分比例を試みるに（老母へ送金と保險金とを差引き）食物は百分の三十六許、家賃は十五許、點燈燃料は八許にて、エンゲル氏の表中、中等家族に比すれは食料に於て、其割合甚た少きを見る。此月は運動會祭禮等の臨時費を要したれば、衣服月割の餘裕なきとなりしならん。菓子と郵便費と稍多きに過ぐる樣思はる、さりながら、交際ひろき人には致方もなかるべきか。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

宮廷錄事

◉天皇陛下　去にし二十三日上野公園漆工會へ行幸あらせられたり。尙九州大演習には十一月六日御發輦、名古屋・舞子・山口長府・の各地に御泊りの上、九日若くは十日熊本御着、三日若くは四日間演習御統監の上、十四日に觀兵式幷に御宴會御施行あり、一日御休息の上還幸、十九日頃東京に着御あらせらるべき御豫定のよし。

◉皇后陛下　去にし廿一日赤十字社總會へ行啓、左の令旨を賜はる。

本日赤十字社第十一回の總會に臨み、玆に各員を見るを喜ぶ、尙將來本社の事業益盛大ならんことを望む。

尙赤坂御園の菊花は昨今開き始めたれは、來る十一月十二日頃行啓あらせられ、觀菊の御宴を開かせらるゝ御豫定のよし。

◉迪宮殿下　御躰質は最も御壯健にわたらせられ、威あり愛ある御顏は丸く肥らせられ、御步行もあらせらるゝよし。御明敏　變りたる樓室へ入らせらるゝ時は室の四方に御注目あらせられ、常に見付けぬ品なれは、必す侍者に御尋あらせられ、又物を取れと命じ賜ふにも、侍者の一人つゝに各別に御命じあらせられ、可成偏頗なく侍者に滿足を與へしめらるゝよし。御食事　牛乳と麵麭と魚肉のみを進め奉り、調理の方法は何れの魚にても之を煮て其肉を崩すとに定まり、刺身等は用ゐさせ給はざるよし。

◉淳宮殿下　雍仁親王殿下には、彌去にし十六日青山御所御出門、麻布なる川村伯邸に御移轉あらせられたり。同邸にては迪宮殿下御座所に隣れる御殿を以て淳宮殿下の御座所と定められたり。同御座所は品海を見晴らし、空氣の流通光線の射入最も佳良なりと云ふ。尙殿下の御箸初は、去にし二十三日川村伯邸に於て御式を擧けさせられたり。

◉皇孫御所　新築の事は兼て報せし所なるが、東宮御所の建築が七ヶ年の見込にて已に三ヶ年を經過し、今後四ヶ年の後に落成すると同時に、皇太子殿下は之に遷らせ給ふ可く、從て青山御所は御不用となる可し、且つ其以前に有栖川宮の麴町邸に移らせらるれは、霞ケ關の御邸は離宮となる可し、故に此中何れかを皇孫御所に充てさせらるゝ事ならんと云ふ。

◎愛國婦人會記事

◉評議員會日割　本月及來月中の評議員會日割左の如し。

十月廿九日　（第五水曜日）　第一の組
十一月五日　（第一水曜日）　第二の組
同　十二日　（第二水曜日）　第三の組
同　十九日　（第三水曜日）　第四の組
同　廿六日　（第四水曜日）　第五の組

但し開會時間は毎水曜日午後一時、出席者の多少に拘はらず開會の事。

◉第三の組評議員會　同會は去にし八日第二水曜日に開會し、出席者は淸浦豐子、千家俊子、內山訓子、柳谷千代子、鄕濱子、中山幸子の各評議員を始め、奧村五百子、會計監督佐藤正氏等出席の上當日の議案を提出し、午後四時頃迄評議ありて解散せり。

◉第四の組評議員會　同會は去にし十五日第三水曜日に開會し、出席者は山地謙子、濱尾作子、相馬陸子、松前藤子、中山幸子、有島ゆき子、關郁子の各評議員を始め、奧村五百子、會計監督佐藤正氏等出席の上午後二時頃より會議に移り、各評議員に於て會合時間を正確に守るべき事につき相談あり、夫れより關郁子氏提案にかゝる麻布芝の兩區幹事の催しにかゝる會員勸誘方の件につき評議ありて後本會提出の議案を議決して午後四時半頃散會せり。

◉第五の組評議員會　去にし廿二日午後開會、山內穎子、岡部扺子、松平久子、松前光子、神山万佐子、山本多保子、中山幸子、佐藤猶子、阪井春子、三輪田眞佐子の諸氏出席し、來月末に評議員大會を開くべき準備の相談ありたり。

◉特別會員の待遇　金額五拾圓以上を寄付したる者は有功章を贈與したる上、尙特別會員にして會費を一時に納付したる者と同樣、相當の徽章を交付し特別會員として待遇する件、評議員會に於て決定せり。

◉弔慰金の事後承諾　第十二師團步兵第二十四聯隊罹災者慰問及弔慰金六十六圓を贈與する件は、事件至急を要したると、折柄評議員會の開會なき爲め、評議員の承諾を得るの暇なかりしを以て、會長へ具申の上直ちに贈與せしものなるが、今回事後承諾を得んため各評議會にはかりたるに、異議なく承諾を與へたり。

◉淸國翰林官　同官は先頃體育會に來り折柄、本會評議員方の集會せらるゝを見て、三宅醫學博士に何事の會合なるやを聞きしかば、博士は詳かに本會の主旨を陳べし處、日本の軍人の强きは如斯後援あるによるなるべし、歸國の上參考にする故規則書等貰ひたしとの事につき、本會よりは主旨書及新聞等數十部を送りたり。

◉宮崎支部會の狀況　日州獨立新聞の記載する處によれは、過般岩男夫人幹事長に就職以來熱誠勸誘の結果既に七十餘名の會員を得、其後に於ても續々申込者あり、現在會員百五十四名にて特別會員十四名、通常會員百四十名に至り、益々增加の傾向ありと云ふ。

◉奧村刀自の遊說　長野新潟兩縣下遊說の途に上られたる奧村刀自は、去にし十六日午後六時過長野驛に着、長野支部副幹事長白川たきゑ、牧內幹事岩下第五課長佐藤縣屬諸氏の出迎を受け、縣町の犀北館に投宿せられ、翌十七日午后二時より善光寺大勸進に於て臨時に開會せる、長野市婦人會に出席し、二百餘名の聽衆に對して演說せられたり。尙十八日以後遊說の豫定は左の如し、其日誌は次號より之を揭くべし。

十八日午前九時より長野高等女學校に於て、
十九日午後一時より長野市城山館に於て、
廿日　廿一日　松本町に於て
廿二日　廿三日　上田町に於て
廿四日　屋代町に於て
廿五日　新潟縣へ向け出發

◎會員の消息

◉故小林くま子　長野縣長野市松代町小林くま子は、同市なる製糸場の女工なるが、兼てより本會に熱心なる同情を寄せ、疾日より會員たりしが、病氣に罹り家計も自然不如意なりし爲め、會費遲納わりし處、先頃危篤の場合に臨み、遺言して是非愛國婦人會の會費一圓を納付せよと、呉れ〳〵も家族に依賴し、尙妹にも入會を勸めたる上、死亡せしよしにて、此程親族より納付方延引の理由と、會費一圓とを添へ支部へ拂込みたるよしなるが、女工の身を以て會員となるだに既に篤志の事なるに、生前の約を嚴格に守られたる、實に殊勝なる心かけにこそ。

◉篤志の寄附（一）　愛知縣の加藤伊之吉氏より左の書面を添へ、金員を寄附せらる。

當春奧村五百子來演の節、貴會の御趣意拜聽仕大ひに感奮仕候、夫れよりして少々つゝ貯金致し、玆に金五十貳錢と相成り候故御送付仕候、本會の雜費と相成し被下候へば、私し本望に存候、付ては役場へ出すのが本意なれとも、少々のものを御手數を掛けては恐入候故直納仕候、願はくは御受納被下度此段御願申上候也。

三十五年十月三日　愛知縣幡豆郡吹羽良村大字上羽角二番　加藤伊之吉
愛國婦人會御中

◉篤志の寄附（二）（是れは先頃福岡兵營罹災の時女學會々員の一人として送られたるものなり。）

（前略）貴紙上にて拜見すれば、おもひきや福岡兵營に於ては火災おはしまし候とは。さるにてもおいたはしさのこゝろやらんかたなきに、その上に死者負傷者さへあまたこれあり候との御事、いと身にしみ侍り、かたみの袖におくつゆのなか〳〵にしげく、候折柄父母より金少々中元にとて下され候を、あたし事につひやさむもいと心くるしう思ひ侍り、いさゝかなりともかへりみず、御送り申候間、いかて〳〵同地へ御とりつきたまはりたく、願ひまゐらせ候、又私方はしたため信、松野なる者二人各金五拾錢、御台へ寄付致し度と申出て候間、これまた御受納下され度候かしこ。

八月十六日　伯耆國　大日本女學會々員の一人
愛國婦人會御中

◉三木千代子の書信

謹て愛國婦人會へ申上げます、皆御隆盛御健勝に被爲遊御座ます御事、何より芽出度そんじ上奉ります。私は貴會々員の列に加へて頂きまして、誠にうれしく日夜よろこんで居ります、亦愛國婦人なる今古未曾有の一新紙を御發刊に相成、拜讀の榮を得まして是又此上なき樂しみと致し、御送付の日を鶴首待つて居る樣の事で御座います。私如き世の樣を知らぬ井の中の蛙の如き者に取りましては、生れ變た樣の心が致しまして、樂しみてたのしみて中々能舌にてはつくしされません、どうか御察しくたさい、つきましてはかかる貴重なる教訓ある紙を、一讀したゝけにて打捨るは誠にをしき事で御座います、依ていつ〳〵までも永く保存かして置きたう御座いますが、今のまゝでは不便で御座いますから、續き物等を切り取るか、又は一小册に綴り込む樣になし頂き度き事に御座います、誠に己が身勝手のみ申上恐れ入ます、然しかくなし頂きますなれば、子々孫々までもよろこんで拜讀する事か出來得る事と考へます、つたなき筆もて御あいさつなり、よろこび旁御伺ひまてと筆とめ申候かしこ。

十月十五日　兵庫縣飾磨郡家島村　三木千代

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◎婦人論梗概

●富士川游氏の「兒童の疲勞に就て」　精神の動作中意識的の動作、即ち一物の上にその注意を集注する事は疲勞を致すこと著し、特に小兒に於ては其の腦髓は血管に富みて血液の量多く、生理的心理學上の實驗に依れば、その觀念は之を大人に比すれば經過甚た速にして、外來の刺激を感受すること甚だ速なるに反して、一の刺激に永時關係すること能はざるを以て小兒の注意を一物に永く集注せしむることは甚だ難事なり。然るに教育は兒童をして常に一物の上にその注意を集注せしむることを務む、これ已に小兒の精神の性質に反對せる事なり、矧や自己の好まざる所のものをも强て爲さしめらるゝに於ては、その精神の疲勞するは知るべきのみ。疲勞の恢復を得さるによりて、遂に病理的關係を引起すは往々實見する所なり、我國の教育者は、須く疲勞の檢査方法、及疲勞に對する研究を怠るべからず。云々　（教育學術界）

●下田歌子女史の「現代女子教育の弊」　今日我國に於ける女子教育の弊害は、虛學に偏して實學を重んせざるにあり、苟も一たび口にしたる事は、必す之を成し遂げ、其結果を見ずんは止まさるの決心を有する淑女を養成することこそ緊要なれ。思ふに今の日本に於ける女子教育の形勢は、恰も歐洲に於ける二世紀前の程度に似たり。佛國の教育家の言に曰く「學はこれ實際の間に合ふものに非すんは教ふべからず、實際に行ひ得る事に非すんは誨ふべからす、必す其眼前に於て之を實驗して、正しく其結果の見得べき事のみを授けよ」と、此格言を以て吾國今日の女子教育に應用すべきなり。我國の教育は習育に重きを置きし結果、實踐躬行を爲さゞるは教育の一大弊害にして、公衆の前に誓ひし事すら實際に之を行ふものなく、公衆も又之を責めさるが如きは、心得違の甚しきものにして、歐洲には家庭に於ける母子の間に在ても實行されさる事は强て之を誓はしめす、苟も一旦誓ひし以上は、必ず之を實行するの義務有りとの觀念强きがため、國風も自然に實際的に傾くは慾嘆の外なし。我國の教育者も常に此點に留意して眞面目なる國民を作れ。云々　（中央公論）

●日本記者の「女學生の風紀」　全國の人心は囂然として女子教育に向ふの今日、諸新聞の好んで記載する女學生醜聞は事實の有無に拘はらず教育界に恐慌を來すべし。然れとも其出來事たる、今日迄にては學校以外に於けるものゝみにして、校舍內の出來事に非るは不幸中の幸ともいふべきなり。故に此出來事に對し教育者の答ふる所は、女學生の腐敗に非すして腐敗者の入學せる故なりと辨解せり、果して然らは、第一に取るべき方法は入學生の吟味なり、文部省は監督の地位に立ちながら單に外形的の監督にのみ流れ、其內容を究めさるは教育行政の責任を完うせざるものなり。而して之れか匡正方法として、學校に寄宿舍制度を立つるは下宿屋制度より優るも、元來婦人は男子より生理上多く秘密を必要とするものにして、特に最も變化を受け易き時期に妙齡の子女をして寄宿舍生活を爲さしむるは、當を得たる考へに非す、要するに今日の社會の現況に於て、女子を家庭外に住居せしめ、又は郷里外に遊學せしむるは、教育の方法として必要なきは勿論、社會慣習の不良なる今日に在りては、寧ろ失當の甚しきものと云ふべし。云々

●兒童研究記者の「社會に於ける家庭の地位」　生物學上、人類が他の動物に勝りて優勢なる地位を占むる所以は、人類が社會的生存を爲すの性質を有するにあり。社會の起源は各個人が此性質により、小團躰を作り家庭を作るに基く、故に家庭は社會の單位にして、健全なる社會は健全なる家庭を基とするにあり。抑も家庭の起源に二樣あり、一には生活の必要より生ず、是れ一人にて食を求むるより、數人にて之を求むるを便とし、一人にて敵を防ぐは數人にて敵を防ぐに若かざるによる。二には社交的慾望性より起る、人の此慾望は飲食の慾望と同一なり。扨て此家庭の目的は如何と云ふに、日本の國風は祖先崇拜の念重き爲め主たる目的は祖先の祭祀を絶たざるに在り、故に其目的は過去と未來とに重きを置き、現在に重きを置かず、之に反し歐米に在ては現在に重きを置き、一夫一婦か幸福に現在を送ると其主たる目的となり居れり。思ふに兩者共に極端にして、眞正なる家庭は過去現在將來の三つを結合して、長へに其目的を遂るにあり。故に將來の爲めに現在を犧牲に供す可からず、子孫を得んがために蓄妾等の罪惡を犯す可からず。云々要は今日に於て家庭の地位を高め、社會一般の健全を計るべしと論せり。

●女學生問題に關する諸大家の談話　（一）細川華族女學校長曰く、余は學校と家庭とは常に聯絡する樣に勤め、本年よりは一層之を嚴格にして、入學の時には必ず父兄か保證人の付添を要求し、之に向て懇ろに生徒の心得を示し、且つ生徒に注意を要する事は、時々家庭に報告する事となし居れり。思ふに今日に在ては、兩者の關係の外社會の改良を企てさるべらす、腐敗したる社會の事物を見聞すれば、自然其方に惑化さるゝを以て、完全なる教育を爲さんとするには、先づ社會の改良より始めさるべからず。云々（二）高嶺女子高等師範學校長曰く、地方に於ける良家の子女を、確たる親族もなきに只東京に遊學せしむれは立派なる教育を受け得べしと心得、妙齡の婦人を家庭より放すは大なる間違にして、婦人は家庭にて仕立つるを最もよろしとす。特に日本には婦人が家を離れて獨立に運動し得べき狀なきが爲め、社會上の規律確立せす、隨て存外なる間違を生ずる事あり、西洋に在て假令ひ同一の學校又は同一の宿所に在て、毎日顏を合す人にても、確實なる人の紹介なくば、決して言語を交ゆる等の事なし、然るに日本には値なる關係より言葉を交へ、又は手紙の往復等を爲すにより、遂に間違の生ずるなり。云々　（讀賣新聞）

◎雜報

●日本女子大學校　同校にては去にし十八日同校內に於て運動會を催したり、場の入口には緑門を設け、周圍には天幕を張りて來賓席を設くるなど準備よく整ひ、多數の參觀者の內八分通りは婦人なりしを以て、男子の運動會と異り尤も靜肅に行はれたり。

●東京音樂學校　同校助教授瀧廉太郎氏はピアノ研究のため、滿六年間の豫定にて獨逸國へ留學中なりしか、病氣の爲め去にし十七日歸朝し、十九日の慈善音樂會には臨席し居たり。尙同校助教授幸田幸子孃は目下伯林音樂院に在り、校長ヨアヒム氏に就て研究中なり、又同校生徒の秋期遠足會は近日の內、女子部は相州江の島に遠足運動を催すよし。

●日本女學校　本郷なる同校に於ては、去にし十八日第二回紀念日式を舉行せり。校舍內には各思ひ〳〵の作りものを爲し、現在生徒凡て五百名、三階なる大講堂にて各級生徒の餘興の催しあり、午後四時頃散會せり。

●視學官の女學校巡視　文部視學官の女學校巡視は去にし十八日を以て一段落を告けたり、其間視察を遂けたる學校は左の如し。
成女學校、實踐女學校、日本女學校、東京女學校、跡見女學校、淑徳女學校、東京女學館、愛敬女學校、久岡女學校、三輪田女學校、女子親睦學校、女子大學校、正則女學校、興風女學校、立教女學校、女子語學校、東京看護婦學校、東京英和女學校、香蘭女學校、明治女學校、青山女學院、頌榮女學校、普通女學校、女子學院、高等女子佛英和女學校、女子東京美術學校、靜修女學校、渡邊裁縫女學校、女子美術學校、共立女子職業學校、女子高等裁縫學院
視察の結果は未た發表せさるも、元來私立に係るものなれは教師の撰擇より設備の模樣に至るまで、官公立の女學校に比して遜色あるも、學校內に於ける生徒取締の一段に至ては、例せは女子職業學校の如き、跡見女學校の如き、寧ろ嚴重に過ぎすやの感なきに非さるも、概して豫想外に行屆き居るもの〻如く、却て教師たる者の中に、如何はしき點ある樣見受けたれば、此點に付て取締の方法を定むべしとの事なり。

●父兄母姉會　靜岡高等女學校にては學校と家庭との連絡を謀るため、去にし十一日三年生以上の父兄母姉會を開き、來會者七拾餘名ありて頗る盛況なりき。正午より來賓の隨意懇話、歡迎の唱歌、校主の挨拶、校長の演說、生徒惣代の挨拶、三年生の立禮作法、四年生の坐禮作法、補修科生の點茶等あり、又寄宿舍にては舍內一週間の實況を假設し、少時間中に舍內生活の有樣即ち晨起掃除より就眠までの實況を來賓一同の一覽に供しゝは好趣向にて、就中就眠臥床に入る時枕邊にて各自郷里の天に向ひ兩親への拶挨兩者の交互禮讓の狀、洗濯髮の結ひ合ひ便所の掃除等は來會の母姉を感ぜしめきと。

●アイヌ教育慈善音樂會の景況　同會は去にし十八十九の兩日間上野音樂學校に於て開會兩日とも晴天にして土曜日日曜日なりしかば來會者非常に多く番組も至て當を得たりしにより夜來も日暮れまで聞き居たり十九日は一層多く入場者約二千名に達したりと云ふ兩日とも本會評議員方の多數周旋の勞を取られたるを見受けたり

●婦人讀書會　此程有志の婦人方が設立せられたる同會は、婦人互に讀書を獎勵するの主旨にて、一日少くも三十分間以上の讀書を爲す規約を結ひ、會合の節互に如何なる書籍を如何程讀みしかを語り合ひ、若し規約通り讀書せさりしものには罰金を科し會費と共に書籍購入費に充つる趣向のよし、去る廿二日麹町區平河町九丁目長谷川きた子女史の宅にて開會したり。各地婦人會に於て斯樣な企のあらんことを希望す、尙追つて委細に報道すべし。

●令女會　同會は毛利公爵母堂會長にて、各貴婦人方の組織にかゝる佛教的婦人の會合なり。毎月一回築地本願寺內に於て開會し、法話を聞くを主とし、西本願寺より特に僧侶を派出し、毎會二席の法話あるよし、同會の起源は最も古るくして、十三年前の設立にかゝり、會員は少數なれとも皆熱心に出席せられ、法話を聞かるゝ趣なり。且同會は外國とも特に關係を付けあり、世界の各地に於て災害等ありし時は、積立金の內より救恤するよしなり。本月の會合は、去にし十六日午後一時より開會しいと盛會なりしよし。

●領布振婦人會の組織　佐賀縣東松浦郡濱崎村字砂子横田上下、野田、山田の五箇村有志者の助勢に依り今度領布振婦人會なる者を組織し去二十四日秋季皇靈祭の當日を以て同村延喜寺に發會式を舉行せり。本會員田村梅能女史の祝辭と婦道の話あり、次に江口前校長の祝辭等ありて、盛會なりき。同會は婦德の涵養を主とし、倫理家政學禮式點茶裁縫等の大意を講習する筈にて、夫々其擔任教師を定め、又役員等を撰舉せりと、目下の會員は百餘名なりといふ、

●佐賀婦人會創立會　同縣にては從來婦人會の組織ありしも期年ならずして消滅し來りたるが、今回香川同縣知事の夫人を始め書記官參事官視學官師範校長夫人發起となり過日來佐賀婦人會を創立せん事を企て委員を撰みて會員勸誘中なりし處賛成者二百餘名に達せし由にて去る五日午後二時より高等女學校に於て創立會を開けり會長には知事婦人副會長に池田專助氏夫人推選せられたり。同會は毎月一回宛開會する筈にて現在會員は三百五十名なり。

●婦人教會發會式　福岡縣朝倉郡三奈木村にては去十日より十二日迄婦人教會發會式を兼ねて佛教演說會を開きし處頗る盛なりし。同會員は已に六百餘名ありて專ら慈善事業に力を盡す筈にて、此演說會場にて集めし龍華孤兒院の寄捨金凡二十圓許もありしと云ふ。

●宮崎婦人會例會　宮崎婦人會例會は去る十一日午後一時より宮崎病院樓上に於て開會し、出席者三十餘名和田規矩夫氏（主婦の務）濱田政壯氏（看護法）の講演あり。午後四時散會せり因に同會には三島某を聘して毎月第一第三月曜日を期し正午より西洋料理法の實習を開きつゝあるが會員は熱心に出會するよしに聞く。

●武石婦人會　長野縣小縣郡武石村の全會は去十二日開會三百餘名出席　贊助員村會議員學務委員各區長名望家學校職員等も出席倉澤金次郎（家風の作り方）岩下春吉（樂しき我家）等諸氏の演說あり宮下、中原、小宮山、柳澤、倉澤諸氏の寓意的演技あり盛會なりし。

●佛國人の貯金法　佛國四に於ける農家の貯金の方法は豚牛、雞の如きものを以て家族に分ち、例へは姉は豚、妹は牛、弟は雞と云ふ如き有樣にて豚より生じたる副産物は姉の所得、牛より作りたるバタチース等は妹の所得、雞の卵子は弟の所得となし彼等は之れを金に代へて貯金をなすを以て、小百姓の女子にても嫁入時には少くとも三百法（百廿圓）位貯蓄せざるものなし。

●皇帝と米國婦人　歐洲諸國の大旅館は、大抵皆曾て諸國の帝王の宿泊せられたるをもある看板として之を誇らざるものなく、多くの帝王の宿泊せられたる丈、旅館の品位を增すものゝ如く一般に認められ居れり。倫敦にてはクラリッジ旅館此點に於て最も誇るに足るべきものにして、歐洲大陸にては巴里のブリストル旅館なり、同旅館には現に希臘皇帝宿泊し居られ、英皇帝が尙皇太子たりし頃には巴里に赴かるゝ每に同所に宿泊せられたり。或時米國の一婦人知人を招きて饗宴を催さんとするため、皇太子の常に宿泊せらるゝ同旅館の一室を借受けたることありしが、其時婦人は旅館の主人に案內せられて其の室に入り、室內を見渡したる後、來客は多人數なれば此室にては間に合ひ兼ぬべしと云へり、主人は曾て英皇太子が此室にて同樣に多人數の來賓を饗應せられたることあり、其際皇帝及び皇后は此隅に席を占められ、某皇帝は彼所に某皇太子は此所に坐せられたりと述べたるに、米國婦人は諸國の帝王を左程に詰込み得たるならば、妾の客も如何樣にもなるべしと云ひて終に其一室に取極めたりと云ふ。

●已婚婦人は就職すへからず　米國臨湖市の市教育局は頃日訓示を發して、將來同市學校女教師には未婚婦人のみを採用すべく、若し已婚婦人にして就職し居る者あらば此際辭任するを可とすと宣言したり。同局長エウマン氏は之が理由を說明して日く、「已婚婦人の第一の義務は其家政にあり、余は斷言す、斯の如き重任を負へる婦人は決して學校が要求する條件の下に勤勞し得るものにあらず」と。

●女子教育は米國流に限る　佛國大統領ルベー氏の夫人は此程佛國母の會と稱する夫人團躰の招待に應し、女子教育は米國流と爲すに限るとの趣意の演說を爲したる爲め、大に物議を招き貴夫人間に非常の不人望を買ひたるが、夫人は豫てより米國流の女子教育を贊成し、女子教育は米國却て歐洲に優れりとの意見を懷き、時々其意見を發表したる事ありと。

●佛國農家の節儉　佛國西の農家に至りては其の困苦は日本の農家に勝れり五人の家族にて豚一匹を鹽漬となし日曜毎に其の一片を剝きて之れを五人の家族に分ちこれにて一年間を支ふるなり日常は芋、大根、人參などを買て鹽をかけ固き黑パンにチースをつけて食ふ葡萄酒は農家にて作ること日本の農家に濁酒を造るが如し農家の葡萄酒は廉價に作られ葡萄を潰して壺に入れ醱酵せしめ之れを絞りて酒となす農家の田園には必ず葡萄を栽培せり黑パンは農家が共同して燒くものにて二十軒位の村には一箇所のパン燒の竈あり各自順番に之れを擧どり二週間毎に之れを燒くの例なるが當日は各農家よりパンの原料を持ち來れば燒方に當りたるものは之れを燒きて渡すなり左れば最初二三日間は柔きパンも二週間に近づけは固くして石の如くなるを彼等は平氣にてチースをつけて嚙り居れり斯くして節儉したるものは何れも貯金をなすを以て日本の水呑百姓の如きものにても一千法位の貯金を有せざるものなし

會員の君達に希ふ

各地に於ける本會々員の消息幷に婦人會の模樣及び女子教育上の有樣など本誌の爲に報道の勞をとられんことを希ふ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

女鑑

十月廿日第貳百六拾貳號發行

毎月二回發行

▲一冊金拾錢
▲六冊前金五拾七錢
▲十二冊前金壹圓拾錢
▲十四冊前金貳圓拾錢
▲全國無遞送料

發行所　東京築地二丁目廿一番地　國光社出版部

女子の友

十月十八日第百二十六號發行

號を重ねて益々清新、律々たる趣味滿紙に溢る、而して深重なる態度、縦横なる活動、そは我女子の友か女子社會より收め得たる一大勢力にあらむや、見よ眞に是れ斯界の一明星

毎月二回發行

▲一冊拾錢
▲前金六冊五十七錢
▲十二冊一圓貳拾錢
▲全國無遞送料

發行所　東京神田區鎌倉町（電話本局二七二二）　東洋社

兒童研究

第五巻第八號　十月五日發行

毎月一回五日發行

▲一冊郵税共金拾錢
▲半年分金五拾八錢
▲一年分金壹圓拾貳錢

發行所　東京牛込區矢來町三番地　教育研究所

兒童新聞（こどもしんぶん）

毎月三回五ノ日發行

定價▲一部一錢五厘▲十部十五錢▲廿部三十錢▲卅部四十五錢▲五十部七十五錢全國無遞送料(凡テ前金)見本ハ往復端書ニテ照會アレ

發行所　東京本郷區本郷五丁目二十二番地　電話本局八百四番　兒童新聞社

利子改正（十月十六日より）

貯蓄預金	年	六分六厘
定期預金	六ヶ月以上 年	七分五厘
小口當座預金	百圓に付日歩	一錢八厘
當座預金	百圓に付日歩	一錢五厘

帝國貯蓄銀行

銀座一丁目河岸通り（電話新橋八一六 二八〇八）

本郷支店（本郷一丁目）　飯倉支店（飯倉四ッ辻）　赤坂支店（赤坂表一丁目）　四谷支店（四谷大通り）　品川支店（南品川一丁目）　横濱支店（横濱吉田町）

神樂坂支店（牛込神樂町）　須田町支店（神田須田町）　米澤町支店（兩國米澤町）　吾妻橋支店（淺草雷門前）　代理店 田中銀行（日本橋坂本町）

◉一錢以上何程にても御預り最も御便利に取扱申候
◉毎月五日迄の御預け金は全月分の利子を付け申候

專賣特許竈各種

日本橋區蠣売町二丁目十五番地（浪花電話局前通）
製造發賣元　名和商會
神田區松永町十八番地和泉橋通　名和支店

總裁小松大宮妃殿下副總裁鍋島侯爵夫人

推戴賛成員有栖川大妃殿下小松若宮妃殿下華頂宮妃殿下梨本宮妃殿下其他賛成貴婦人百餘名◉本會は明治二十八年の創立にて既に學年を改むること三回講習終了者一萬六千餘人を出せり◉講義を囑託せる講師は東京帝國大學華族女學校女子高等師範學校日本女子大學校等の諸教授及び其他博士學士等著名の專門家なり

大日本女學會

會員募集

本會は國家開明の本源たる女子教育の普及發達を圖らんが爲に女子必須の諸學科を掲げたる講義録を發行し家庭を離れ難き女子をして居ながら通信教授を受けしめ且つ家庭を整ふる人の參考に資す仍て一般女子素養の程度に應じ高等簡易兩科を設くると左の如し

高等科（毎月一回廿五日女學講義發行二個年終了東脩四拾錢月謝四拾錢紙數菊判參百頁）

○倫理坪内雄藏○禮法佐方鎭子○教育學安井哲子○兒童學高島平三郎○國文坂正臣○文法今泉定介○作文同 ○作歌大口鯛二○美辭學島村瀧太郎○漢文土屋弘○日本歴史大森金五郎○日本婦人列傳下田歌子 ○萬國歴史喜田貞吉○日本地理同○萬國地理同○地文脇水鐵五郎○理化同○算術上野清○動物渡瀬庄三郎○植物松村任三○生理衛生三宅秀○家事衛生同 ○小兒衛生三島通良○家事經濟後閑菊野○家庭教育三輪田眞佐子○割烹石井泰次郎○裁縫渡邉辰五郎○習字坂正臣○繪畫武村千佐子○圖案同○美學島村瀧太郎○音樂東儀季治○挿花秀島成鎭 ○點茶松浦伯爵 ○園藝池田伴親○法制經濟岡戸鎭介○民法鳩山和夫○社會學岸本能武太○御伽噺○詞藻○質問應答○雜録○雜報

簡易科（毎月一回五日女學講義發行二個年終了東脩貳拾錢月謝貳拾錢紙數同百五十頁）

○修身談本會編纂○禮法佐方鎭子○國文同○作文今泉定介○漢文土屋弘○日本歴史大森金五郎 ○日本地理喜田貞吉○算術上野伊志子○博物小此木忠七郎○理化脇水鐵五郎○生理衛生三宅秀○家事綱要後閑菊野○家庭教育三輪田眞佐子○割烹石井泰次郎○裁縫渡邉辰五郎○習字坂正臣 ○圖畫武村千佐子○史傳下田歌子 ○御伽噺○詞藻○質問應答○雜録○雜報

●會則は端書にて請求あり次第送呈す●東脩月謝を添へ申込あれば假入會を許し直に送本すべし

昨年十一月新學年開始　十二巻迄發行　初巻より缺本なし　東京麹町下二番町三七（電話番町壹參參〇）大日本女學會

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

明治三十五年十月廿五日發行(毎月十日廿五日二回)
明治三十五年三月廿七日第三種郵便物認可

◎特約販賣店
◎東京堂　神田區表神保町三番地
◎東海堂　京橋區銀座四丁目

冬衣新柄
よせぎれ
見切反物
格安品
陳列仕候

松

神田今川橋
まつや
電話本局 六百八十八番 七百四十七番

新刊　言文一致　新刊

普通學全書

◉洋装美本挿畫豐富◉毎冊定價金二十錢◉郵税金六錢◉五冊金九十七錢◉十冊金一圓九十錢◉二十冊金三圓六十錢◉三十冊金五圓廿五錢◉

第一編 日本歷史上　第二編 日本歷史下
第三編 萬國地理　第四編 西洋歷史　第五編
東洋歷史　第六編 日本地理　第七編 法制大意
◉以上。既刊本日發賣

續刊目次
經濟大意◉教育學◉教授及管理法◉倫理大綱◉心理大綱◉物理學◉化學◉生理學◉衛生學◉動物學◉植物學◉礦物學◉地質學◉地文學◉算術◉代數學◉幾何學◉國文典◉國文史學◉農學一斑◉商業一斑◉工業一斑◉簿記學◉

凡そ普通學の智識は國家文明の基礎で、國力の充實と增進とに最も切要な學問である。然るに方今我國に於ける普通學の弘布は果して如何であるか、即ち中等教育の現狀は如何であるかと云ふに、遺憾ながら未だ充分とは言はれない、随つて此等の獨習書の如きも多くは不完全で或は其書方が晦澁難解であるとか、或は餘りに專門的で學理一邊に趨せて、實際の應用に迂遠であるとか、或は其の材料が散漫で雜駁に過ぎて居るとか何れも初學者獨習者に取つては甚だ不親切の者たるを発れない、是れ國家の爲め學界の爲め誠に殘念な事である。弊社が今般新に言文一致普通學全書を發行するに至つたのは庶幾くは此等の鈌典を補ひ斯學の弘布を謀らんとの微意に外ならぬので深く。以上の通弊に鑑みて種々嶄新なる考案を試みたのである。その世間在來の獨習書など、自ら選を異にする者たるに敢て贊するまでもない。要するに各篇二百頁の小冊ではあるが、優に中等教育の主旨は達せられる仕組故、各地の篤志なる獨學者及各受驗者には最も適切なる自修となり、又中學校師範學校高等女學校の生徒諸君高等學校等の入學志願者各種實業夜學校及小學校教師諸君の參考書として頗る有益便利なるものと信ずる。

◉發兌元　東京神田區裏神保町(電話本局千〇三十六)　合資會社 富山房◉

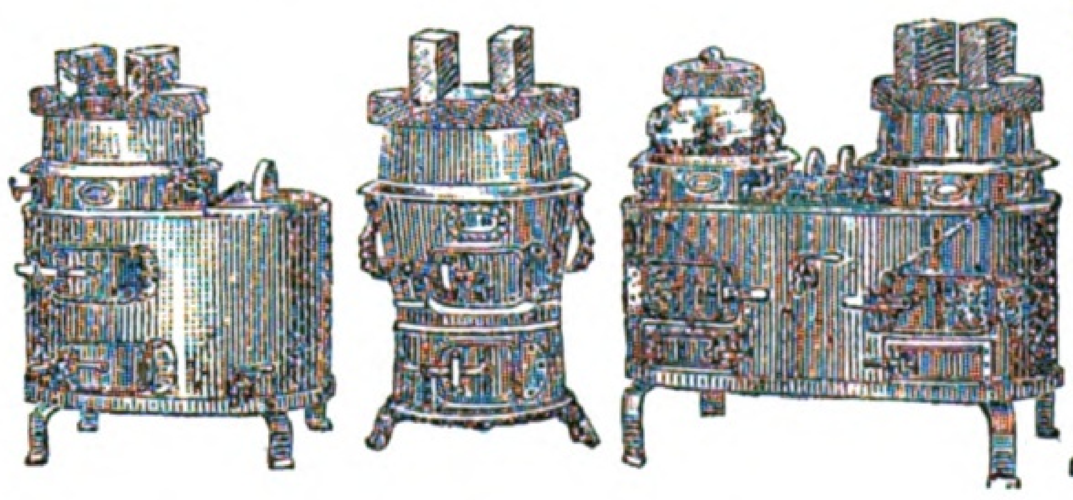
婦人洋服地并ニ附屬品新着

品目
リボン各種、造花、羽根、東髪用ピン、櫛等各種
マフ、手袋、肩掛、沓下、シャツ、其他附屬品各種

女學校用御袴地は英佛國の有名なる織物會社の特製品を選み直輸入致居候間染色織緯等に入念するを以て褪色變質の患なきを保證す又價格は廉價に販賣するを以て多少共御用被仰付下度候

東京市麹町區麹町二丁目七
婦人洋服地並に附屬品販賣
裁縫店 八木や號
大國服裝店
電話番町七百四十二番

炭薪コークス兼用



特許 富貴竈

富貴竈は經濟便利と構造堅牢に於て遙かに他品に優る最も完全なる竈なり
説明書御申越次第進呈す

總鑄鐵製

一升器	一圓九十錢
二升器	二圓二十錢
三升器	二圓七十錢
四升器	三圓二十錢
五升器	四圓二十錢
六升器	五圓二十錢
七升器	六圓二十錢

此外鐵板製并に銅製銅壺附定價略す
販賣店全國到る所にあり

東京淺草區淺草茅町淺草橋際
發賣本舗 阿部彥商店
電話浪花一九二三

商標

芝區日蔭町通源助町十三番地
袴專業 住吉屋 犬飼吉兵衛
(電話新橋二〇六五番)

◉御袴地、御仕立袴、學校用男女御徳用向、特別品廉價に販賣仕り裁縫は殊に叮寧を旨として高尚に堅固に可仕候に付陸續御用命奉冀候
◉弊店は古昔より袴專業にて夙に御好評を蒙候◉

總裁小松大宮妃殿下　副總裁鍋島侯爵令夫人
大日本女子會發行　東京麹町區下二番町三

をんな

第二卷第十號發兌

毎月一回十五日發行定價金拾五錢全國無遞送料

(卷首)樹下美人の圖◉吉祥天女の圖(論說)諸人種の衣服總說、坪井理學博士◉三輪田女學校開校式祝辭、大隈伯爵◉眞正の美人、山澤俊夫(學藝)和書解題(大鏡・榮華物語)喜田文學士◉日本名媛批評(上毛形名妻)下田歌子◉兒童の言語(五)梅澤和軒◉明治維新の原動力(八)津田黃昏◉音樂の話(一)森しつか◉作文批評、今泉定介◉作歌批評、大口鯛二(修身)西三條實條公之後室ー其息女へ遺されし文の解釋、下田歌子(齊家)點茶、松浦伯爵◉割烹、石井泰次郎◉家計收支の實況(世務)法制談(地方自治體)岡戸法學士◉經濟談(會社)伊藤秋南◉各地產業の實況(二十五)「伊勢の紙煙草入」(譚艸)小間使、稚松生(詞藻)本月六日宮中月次御歌會詠進◉田邊和氣子日記◉みやび會詞藻(雜錄)刺繍(承前)木村仲子◉婦人論梗概(彙報)內外要報十數件

大賣捌
東京堂　神田表神保町三
東海堂　京橋銀座四ノ一
有斐閣　神田一橋通町七
北隆館　京橋鍋屋町六一三

登錄商標
◦御半ゑり帯揚類◦
斬新意匠柄類數多く調製雀
形○ゑり治形○まげ入
ゑり治
新橋 竹川町十二
博品館支店
電話新橋二千二十七番
登錄商標

發行兼印刷人　山澤俊夫
編輯人　手島益雄
發行所　大日本女學會內

印刷所　東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地　株式會社秀英舍第一工場

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN